

支えあうコミュニティ 持続可能な未来

武蔵野市議会議員

内山さと子

活動報告 2023年 早春号



平和 自治 共生

〒180-0012 武蔵野市緑町 2-3-A9-506 TEL080-3758-1057

Email satochi@y8.dion.ne.jp <http://satoko-uchiyama.mond.jp>

数百年という事業費に対する効果についての説明はありませんでした。豪雨対策は必要としても、世代を超えて市民が憩う公園で10年にわたる工事が安全に行えるのか、市民の不安と疑問に対して都は誠意をもって説明を尽くし、事業の見直しも検討すべきです。

外環道のような陥没事故は？不発弾は？
2年前に起きた、調布市の住宅街での外環道トンネル工事による陥没事故では、トンネル地上部に住む住民は家屋取り壊し・移転を迫られています。同公園地下には戦時中の不発弾が残っていることも想定されています。
本当に必要？費用対効果は？

説明会では、振動や騒音の環境悪化、陥没事故や地盤沈下、千川小学校や第四中学校、武蔵野北高校の通学路の安全の問題など不安の聲が上がりました。

工期10年間！10トラックが毎分1台土砂を運ぶ？
令和5年度から公園内の樹木の撤去など準備工事を始め、立て坑掘りが3年半、トンネル工事が完了するまで10年に及ぶ巨大土木工事です。シールドマシンという円筒形の機械が掘り出した土砂を運ぶため、10トラックが1日380〜450台が往来する見込みで、毎分1台が休みなく通る計算になります。

都立武蔵野中央公園は、かつて戦闘機のエンジンを製造していた中島飛行機武蔵製作所の跡地に広がる市民憩いの空間です。東京都市、豪雨による石神井川水害対策として、同公園南側に立て坑を掘り、青梅街道沿いに1.9kmの調節池(トンネル)を造る事業を認可し、1月18、22日に千川小学校で近隣住民説明会が行われました。

**都立武蔵野中央公園から10年間トンネルが掘り進む？
都は必要性・安全性の説明責任を果たすべき**

もっと武蔵野を知ろう！語ろう！
あなたはどんな暮らしがしたいですか？
どんな街だったら住み続けたいですか？
今、武蔵野市の基本となる考え方=長期計画について議論がされています。自分たちが暮らしやすい街にするために、ひとり一人が意見を表すチャンスです。
詳しくは、市報No.2212(2/1発行)討議要綱、市HPをご覧ください。
お問い合わせ：武蔵野市役所企画調整課
sec-kikaku@city.musashino.lg.jp
tel 0422-60-1801



上:公園内平面図、下:事業全体図(説明会資料から抜粋)



■武蔵野中央公園から南町調節池を結ぶ地下トンネル式調節池
■トンネル2本、立坑3箇所構成する。